

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	感染症予防事業		コード	02-02-05-03	担当課係	保健課健康係
事業実施期間	平成12年4月1日から(狂犬病予防事業)		担当者	菊川智宏		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり				
	小項目	結核・じん肺				
	施策	健康教育の推進				

事業について	
目的	狂犬病及び感染症の発生を予防し、その蔓延を防止し、住民の健康保持に努める。
対象 (誰のために)	犬の所有者 被災者等の住民
内容	犬の登録、狂犬病予防注射の実施及び注射済票の交付 災害時等における消毒等の防疫活動及び感染症予防の衛生教育

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
犬の登録	176件		
狂犬病予防注射済票交付	1,541件		
集合注射	90ヶ所		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	363	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	5,131	受益者負担	1,369	人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	5,494	市債	4,125	合計	0	市債	0	合計	0	市債	0

必要人員	0.81	人		人		人
結果指標①	結果指標名	犬の登録				
	結果指標量	176				
	単位	件				
	対前年比	—		0.00%		
	事業費	5,494,000	円		円	
	単位当たりコスト①	31,216	円		円	
結果指標②	結果指標名	狂犬病予防注射済票交付				
	結果指標量	1,541				
	単位	件				
	対前年比	—		0.00%		
	事業費	5,494,000	円		円	
	単位当たりコスト②	3,565	円		円	

事業の成果			
成果指標名	注射実施割合	式又は説明	(注射件数/登録件数) × 100
成果指標量	17年度		
	70%		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	75%	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等: 狂犬病予防法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律]
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	狂犬病予防事業に関しては、さらに接種率の向上に努め、市民の利便性を図るとともに、より効率的な事業実施を行う必要がある。また感染症予防に関する知識・情報を広報誌等により周知・啓発していく必要がある。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 180件	結果指標量② 1580件
目標値	成果指標量	72%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	集合注射の計画について、実施場所や実施時間を再検討する。	毎年度	実施計画を見直すことにより、より効率的に実施できる。